

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

2012年 第3号(春季)

事務局:おにき矯正歯科クリニック内
〒861-4172 熊本市御幸笛田 1-9-38
TEL 096-334-8211 FAX 096-334-8210
E-Mail yasu1015@hyper.ocn.ne.jp



熊本矯正歯科研究会講演会 (H23. 11. 9 アークホテル熊本)

ごあいさつ

この News Letter 2012 年第 3 号が、熊本城の桜が綺麗に咲きほころんでいるところに先生方のお手元に届くことを祈っております。

さて、私は平成 23 年 11 月 19 日の臨時総会におきまして次期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)熊本矯正歯科研究会会長に再任され、就任することになりました。次期執行部、会員の先生方と一致協力しながら熊本矯正歯科研究会の発展に尽力してまいりたい所存ですので、よろしくご指導、ご鞭撻をお願い致します。

これまでの 2 年間で振り返ってみますと、懸案でありました会則改正、会員の拡大、組織の改編等を行い、組織の活性化と講演会活動などの充実を図ってまいりました。会員の先生方、業者の方々のご支援のお陰で 1 期目の目標はほぼ達成できたものと思っております。

これからの 2 年間は熊本矯正歯科研究会の更なる発展のために、これまでの事柄を踏襲しつつ、一般歯科医と矯正専門医の先生方との連携を強化し機能分担を図りウィンウィンの関係が築ければと考えております。また、成人の矯正患者の増加に対するペリオへの対応に歯周病専門医との連携が必要になってまいります。昨年秋の歯周病専門医の東克章先生のご講演にもありましたように、歯周病について矯正治療を担う矯正専門医ももっと勉強することが必要であることを痛感しました。

また、会員の先生方もお読みになったかと思いますが、「熊本県第 5 次保健医療計画」や「熊本市のくまもと医療都市 2012 グランドデザイン」を読みますとフッ素塗布、むし歯の数、歯周病に関するものなど旧態依然としており、咬合の重要性についてはほとんど触れられていないのが現状です。熊本矯正歯科研究会では行政や市民に対して、噛むことの重要性や現代病であるディスクレパンシーの予防のためにはもっと噛むことが必要であり、また食習慣の改善が重要であること等について啓発していくことが重要な課題であると考えております。3 歳児検診や学校健診に矯正専門医が学校歯科医と協力して積極的に参加し、不正咬合の予防や矯正治療の必要性について学校の先生方、保護者の方々に説明・理解をうることが将来の歯科医療への貢献につながるものと考えております。実現のために会員の先生方には是非御協力いただきました

いと思います。

これからも熊本矯正歯科研究会の発展に皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 24 年 4 月 1 日 熊本矯正歯科研究会 会長 伊東隆三

平成24年度役員構成

- 会長：伊東隆三
- 副会長：木村浩幸、山部耕一
- 常任理事：鬼木泰久（総務・事務局）、山部耕一郎（学術）、河野賢二（広報）、太田文隆（会計）、森 智昌（地域連携）
- 理事：池上富雄、分山英次、犬童寛治、村田英俊、京極和彦、渡辺猛士、山本資晴、伊東泰蔵、井原功一郎、高木公康、西村 良
- 評議員：下山文江、椿 賢、大森秀則、小林泰子、安田光則、中村圭介、中嶋隆志、三隅晴具、江藤寛文、東 正也、添田誠也、田代正博、武藤健史、赤尾浩彦、若江秀敏、野村健一郎、山田貴之、松岡明子、向江富士夫、布井隆行
- 名誉会員：牧野敬美（顧問）
- 監事：徳永俊英、澤木孝明

平成 23 年度後期の主な活動

○ 第22回～25回常任役員会、第7・8回理事会

毎月一回のペースで常任理事による役員会、2011年10月24日に第7回理事会（出席者10名・委任状4名）、2012年1月23日に第8回理事会（出席者10名・委任状7名）を行いました。

現在、常任役員会ではホームページの有効利用や研究会内間での矯正勉強会について検討しています。会がより皆様の役に立つよう、ご意見・ご要望をお寄せください。会の発展のためにも更なる会員の勧誘が必要と考えられますので、皆様のご協力をお願いいたします。

○ 平成23年度臨時総会(2011年11月19日)

アークホテル熊本にて、平成23年度臨時総会を開催し、17名の先生（委任状46名）にご参加いただきました。議長（若江秀敏先生）、議事録署名人（澤木直子先生、増田憲敏先生）選出後、次期会長および次期監事選出のために臨時総会が行われました。

1) 報告事項

- ・ 現在の会員数は96名です。
- ・ 第一回症例検討会を行いました。会員の東正也先生より4症例の提示があり出席者による検討を行いました。
- ・ 5月23日に講演会を予定しています。九州歯科大学矯正学講座山口和憲教授を予定しています。症例検討会も開催予定です。

2) 次期会長・監事選出

- ・ 次期（任期；平成24年4月～平成26年3月）会長および監事選出について

2011年10月より次期会長選の公示を行い、現会長の伊東隆三先生から立候補の届けがありました。本会で賛成多数により議決され、次期会長は伊東隆三先生に決まりました。監事2名の選出は、期日までに徳永俊英先生より立候補の届出があり、会員より澤木孝明先生の推薦がありました。本会で賛成多数により議決されました。

3) 協議事項

- ・ 日本矯正歯科学会代議員選挙について

昨年より熊本矯正歯科研究会と九州矯正歯科学会熊本支部の併合し、九州矯正歯科学会の上部組織である日本矯正歯科学会の代議員選挙に本会会長が立候補することになっています。伊東隆三先生より日本矯正歯科学会の会員の先生方に投票のお願いがありました。（※2012年1月に代議員に選出されました。ご協力ありがとうございました。）

- ・ 今後の検討事項について

会長選や収支決算報告などの点から総会開催の時期について検討していきます。



東正也先生、症例検討会ありがとうございました。



総会

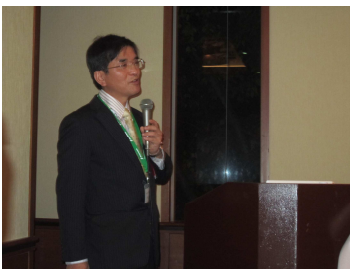


○ **平成23年度 秋の講演会・忘年会**

総会に引き続き、講演会と忘年会が行われました。

会員講演 「左上3番転位を伴う上顎前突の一症例」

向江歯科医院院長 向江 富士夫先生(球磨郡湯前町開業)



上顎前歯の叢生と前突が主訴で、左上 23 が重なっている 13 歳女性に対して、上顎両側 4 番を抜去して歯列を改善する事が出来ました。左上 5 番の歯根が彎曲している事や、犬歯の咬合をしっかり作る事と歯根の平行性を保つ事が両立しなかった為に、どちらを優先するかなやみながら、不十分ながらも 2 年 11 ヶ月の治療期間で咬合を作る事が出来ました。(抄録)

なかなか会員講演の希望がないところ、遠方にも関わらず快く引き受けていただきありがとうございました。

歯根湾曲が強い症例や歯根が短い症例など歯根の形状はより矯正治療の制限を与え、より難しくしていくように思います。そんな中、歯根湾曲を考慮したうえできれいに治療されており、感激いたしました。

特別講演 「矯正治療に必要な生物学的基礎知識」

東歯科医院院長、日本歯周病学会指導医・専門医 東克章先生



歯科に対するニーズは、最近多様化しているように感じる。審美的、機能的要望にくわえて、クリーニング、ホワイトニング、インプラント等を主訴に来院する患者が多い。矯正の分野においては、成人矯正が若年者のそれに比べて増加していると聞いている。一方、成人の 80-90%が何らかの歯周病を抱えており、そういう患者に加えて矯正治療を行う場合は、色々な問題に、直面することになる。こういう場合はまず、矯正治療に先だって歯周病治療を優先して行うことが当然必要である。重度になればなるほど、歯周病を治療すると歯肉の高さが減少する。この場合には、矯正治療だけで空隙を改善することはできない。また、唇側の歯肉退縮や歯根露出が顕著に表れることがある。そのような患者に対しては、結果を前もって予測し伝えておくことは、治療計画を立てる上で考慮に入れておかななくてはならないし、医療過誤とならないという意味からも、重要なことである。

今回の講演にあたって、次の三点について話を進めていく予定である。①正常歯周組織と歯周病 ②歯周病患者の治療とその後の矯正治療との接点 ③矯正治療と歯肉、歯槽粘膜との関わり

この講演で、歯周病の実態とその治療の結果がどうなるのかを、出来るだけ生物学的観点から示し、その後の矯正治療に生かして頂けたらと願っております。(抄録)

今回、ご多忙中のところ講演を快く引き受けていただきました。

本来、矯正治療を行う上でしっかり抑えておくべき歯周病治療ですが、日常ではどうしても歯の移動ばかりが気になってしまいがちだと思います。今回、歯周組織に対する基礎的な知識も含めて講演いただき、その重要性が改めて認識できたような気がします。



懇親会スナップ



今後の予定とお知らせ

- ・ 平成 24 年 5 月 26 日（土）にアークホテル熊本で平成 24 年度熊本矯正研究会総会・症例検討会・講演会を行います。懇親会も予定しておりますので、スタッフの方もお問い合わせの上ぜひご参加ください。
講演「不正咬合の形態的機能的評価と矯正治療について」九州歯科大学 顎口腔機能矯正学分野 山口和憲教授
- ・ 会費未納の会員の先生方は早急に納入ください。
- ・ 熊本矯正研究会のホームページが完成しています。ニュースレターはホームページからもご覧できます。
- ・ 会員内での症例検討会について、参加者を募集しています。

（編集；広報担当常任理事 河野賢二）

熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/>